



Hirata

第68回 定時株主総会

平田機工株式会社

平田機工株式会社

第68期

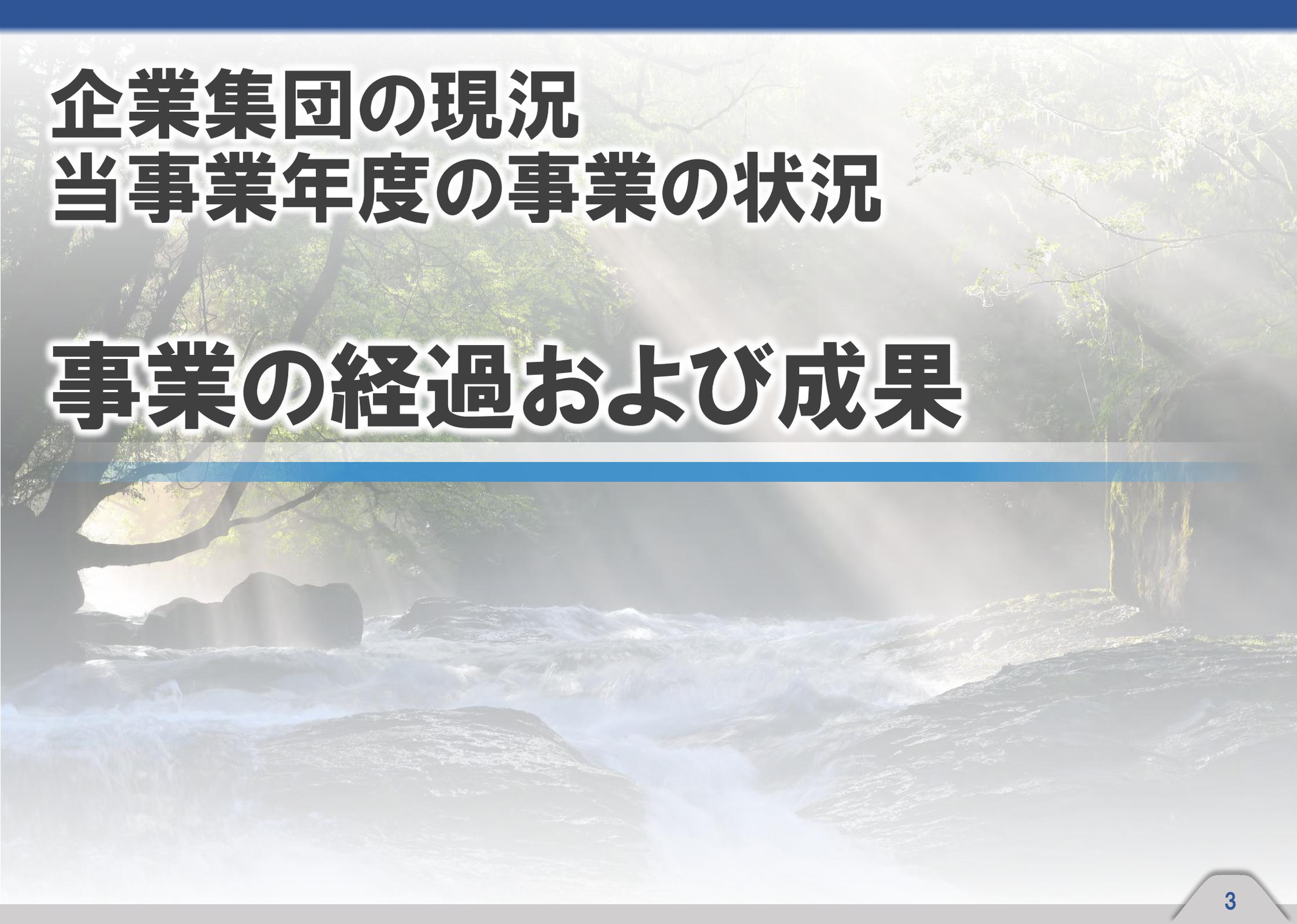
事業報告

連結計算書類

計算書類

事業報告

2018年4月1日～2019年3月31日



企業集団の現況
当事業年度の事業の状況

事業の経過および成果

▶ 世界の経済情勢

米国

雇用・所得環境の改善
個人消費の回復

着実な拡大基調

世界の経済情勢

欧州

一部で企業活動の停滞
底堅い個人消費

緩やかな回復基調が継続

▶ 世界の経済情勢

中国

製造業で設備投資を抑制
足元では輸出入が減少傾向

景気減速が鮮明

国内経済

**設備投資の増加
雇用・所得環境の改善による
個人消費の持ち直し**

緩やかな回復基調

▶ 世界経済

**米中貿易摩擦
英国のEU離脱問題**

世界経済の不確実性の高まり

先行きは依然として不透明

▶ 当社グループ

経営基盤の強化

受注・生産・開発体制強化

既存事業の深耕と拡大

成長市場への進出

量産型ビジネスの確立と商品化

新規顧客開拓

▶ 当社グループ

有機EL関連の設備投資が調整局面

**自動車メーカーで内燃系
パワートレイン関連の設備投資が慎重**

連結売上高

77,302百万円
前期比17.9%減

(単位:百万円)

94,163

77,302

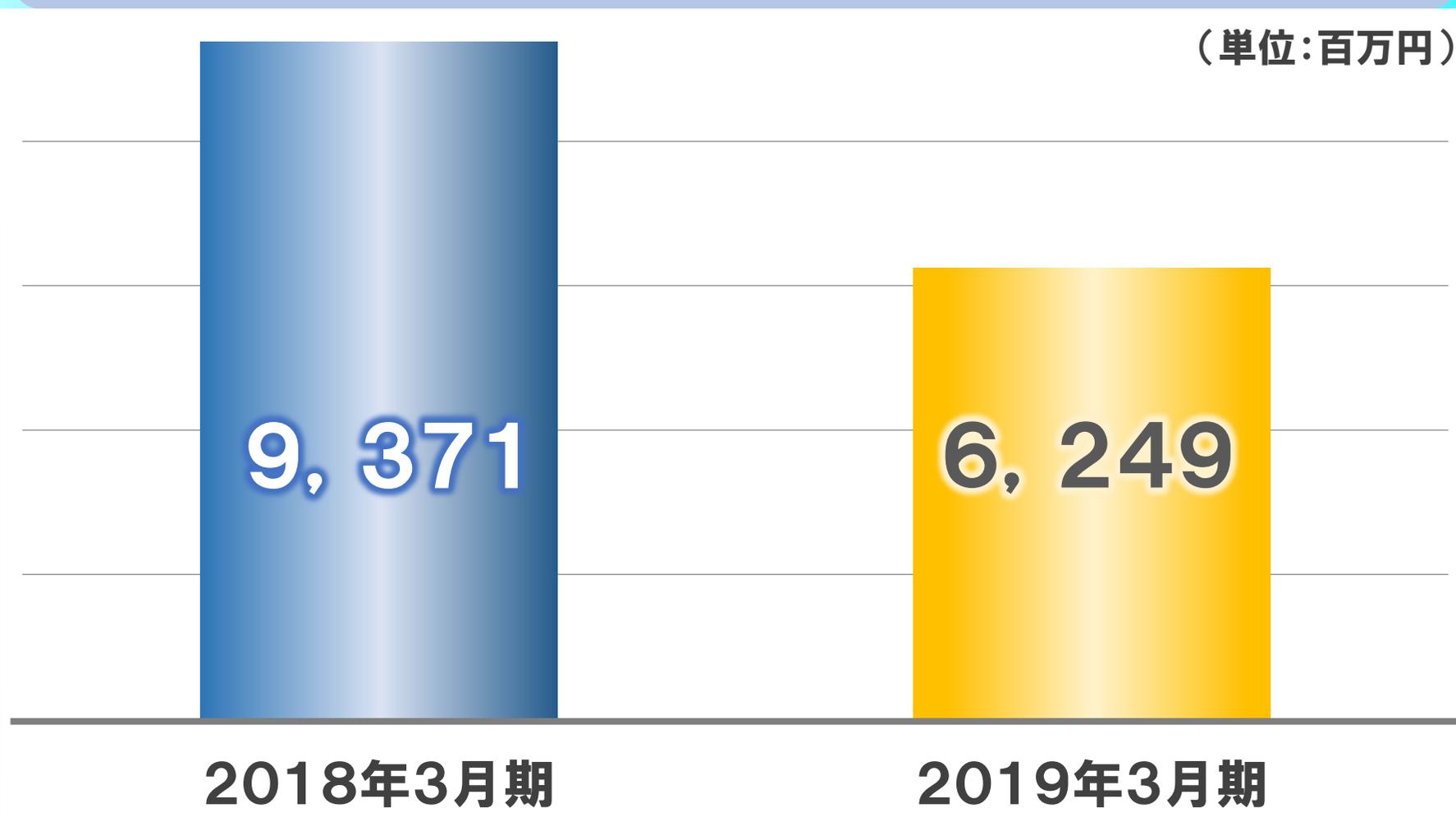
2018年3月期

2019年3月期

連結営業利益

6,249百万円
前期比33.3%減

(単位:百万円)



連結経常利益

6,306百万円
前期比31.8%減

(単位:百万円)

9,247

6,306

2018年3月期

2019年3月期

親会社株主に帰属する
当期純利益

4,637百万円
前期比30.4%減

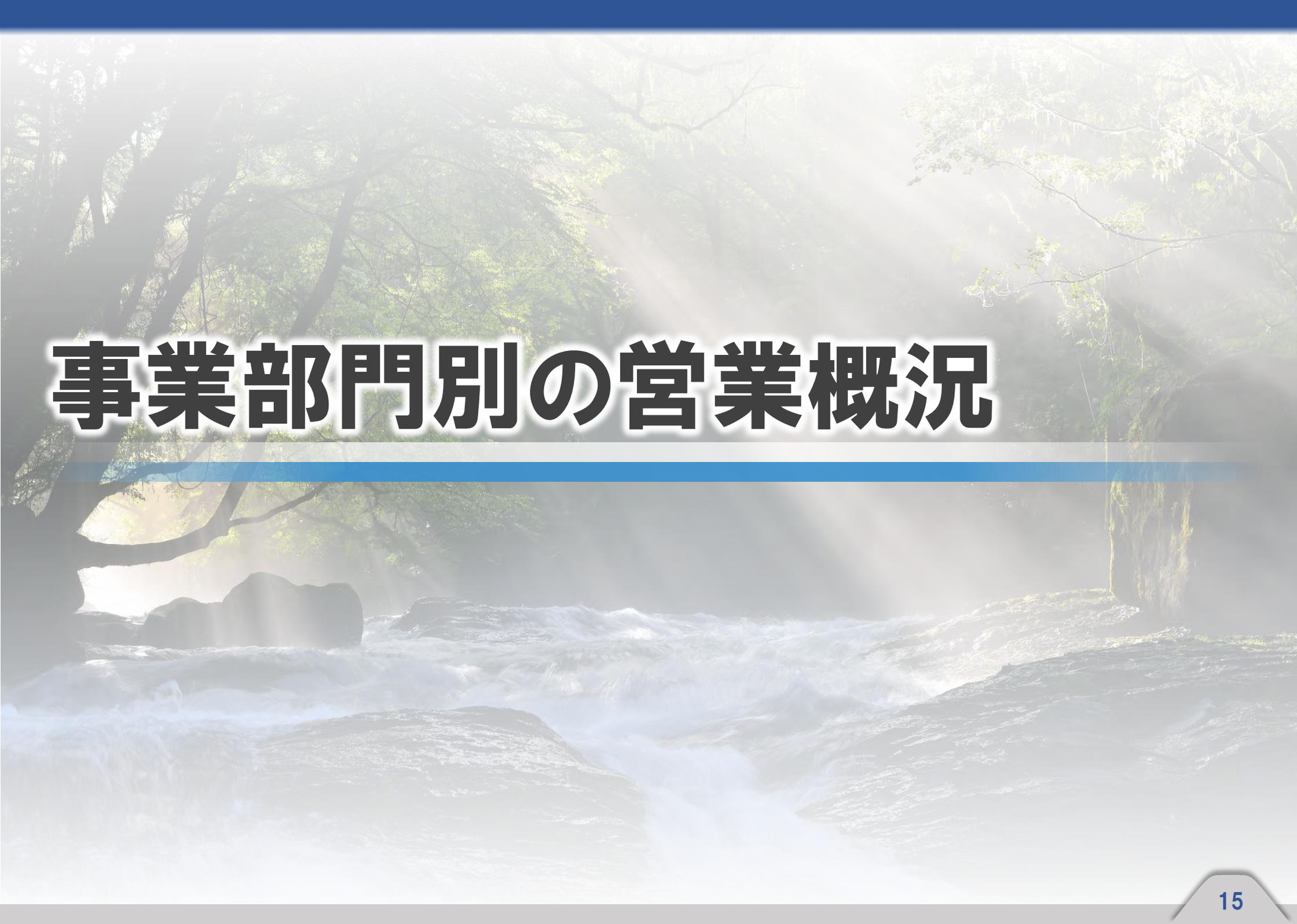
(単位:百万円)

6,666

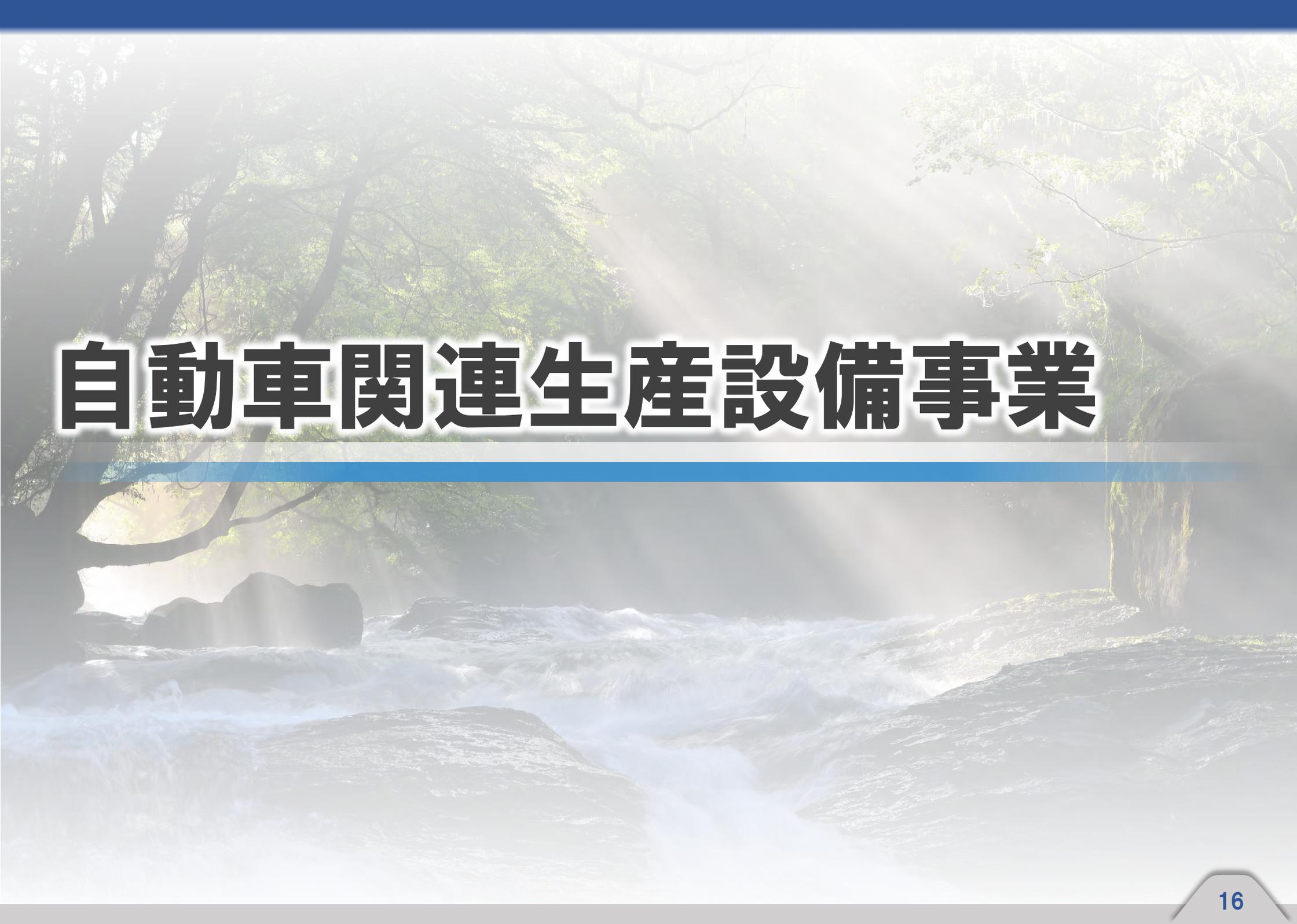
4,637

2018年3月期

2019年3月期



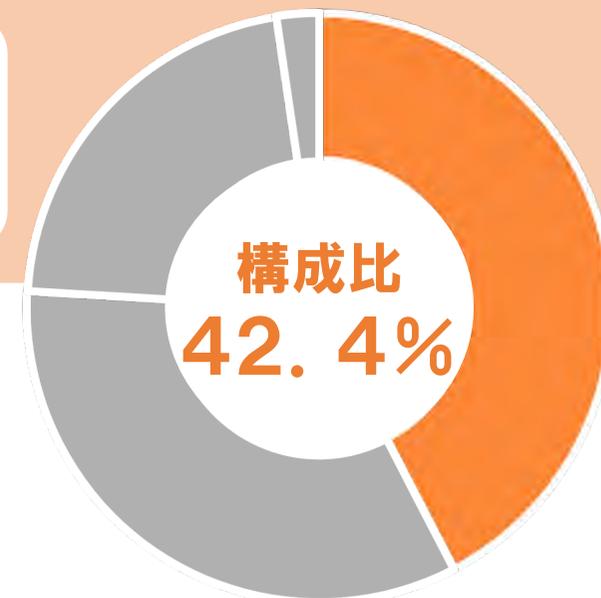
事業部門別の営業概況



自動車関連生産設備事業

売上高

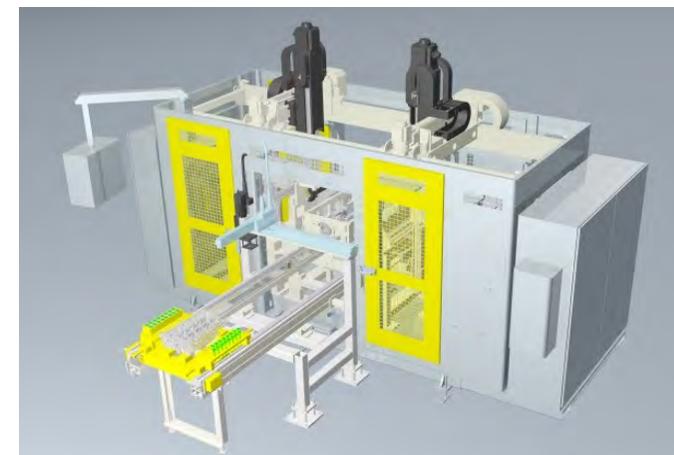
32,760百万円
前期6.3%減



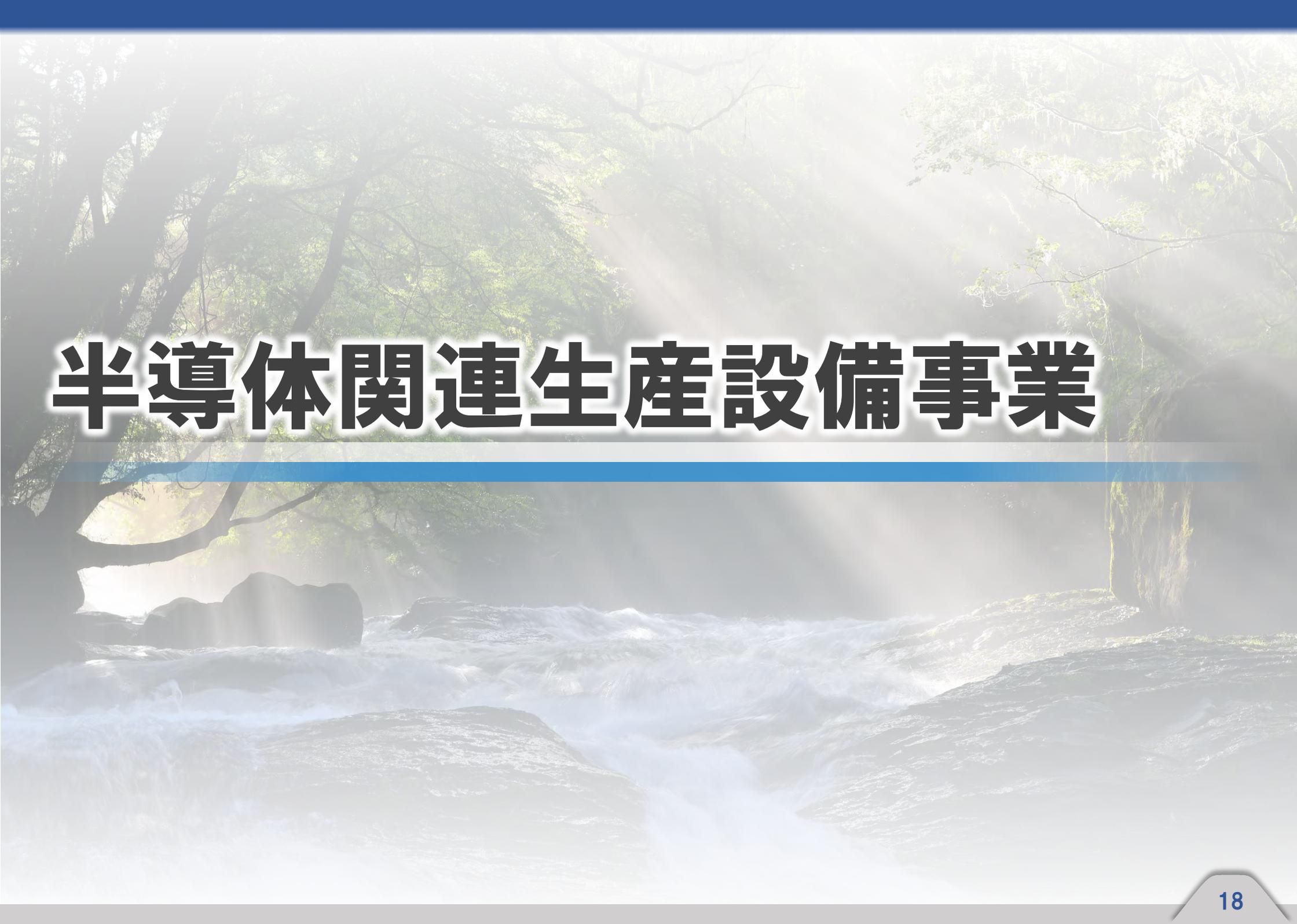
オートマチック
トランスミッションの
クラッチ組立装置



単体商品化された
エコ電動ストッパー



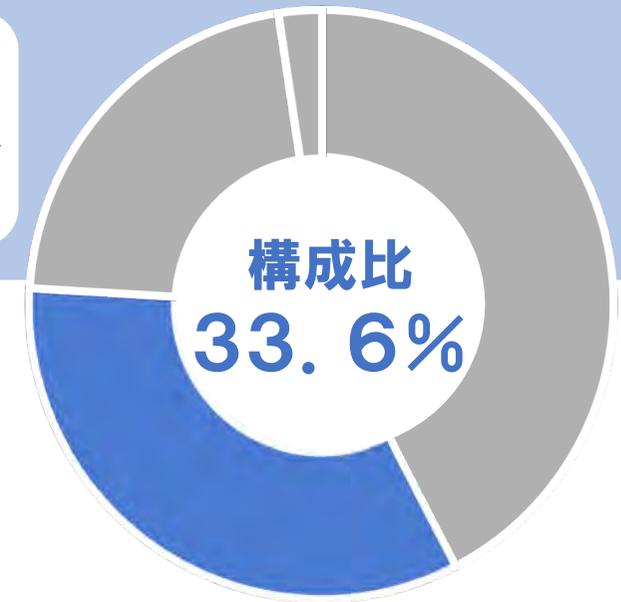
シリンダーヘッドの
バルブ組付装置



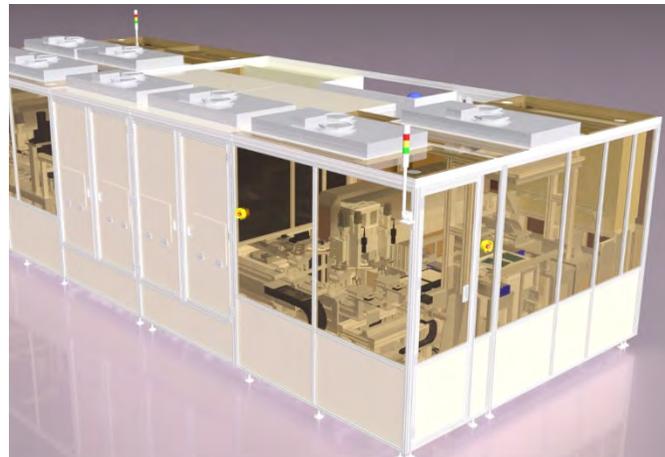
半導体関連生産設備事業

売上高

25,939百万円
前期比30.5%減



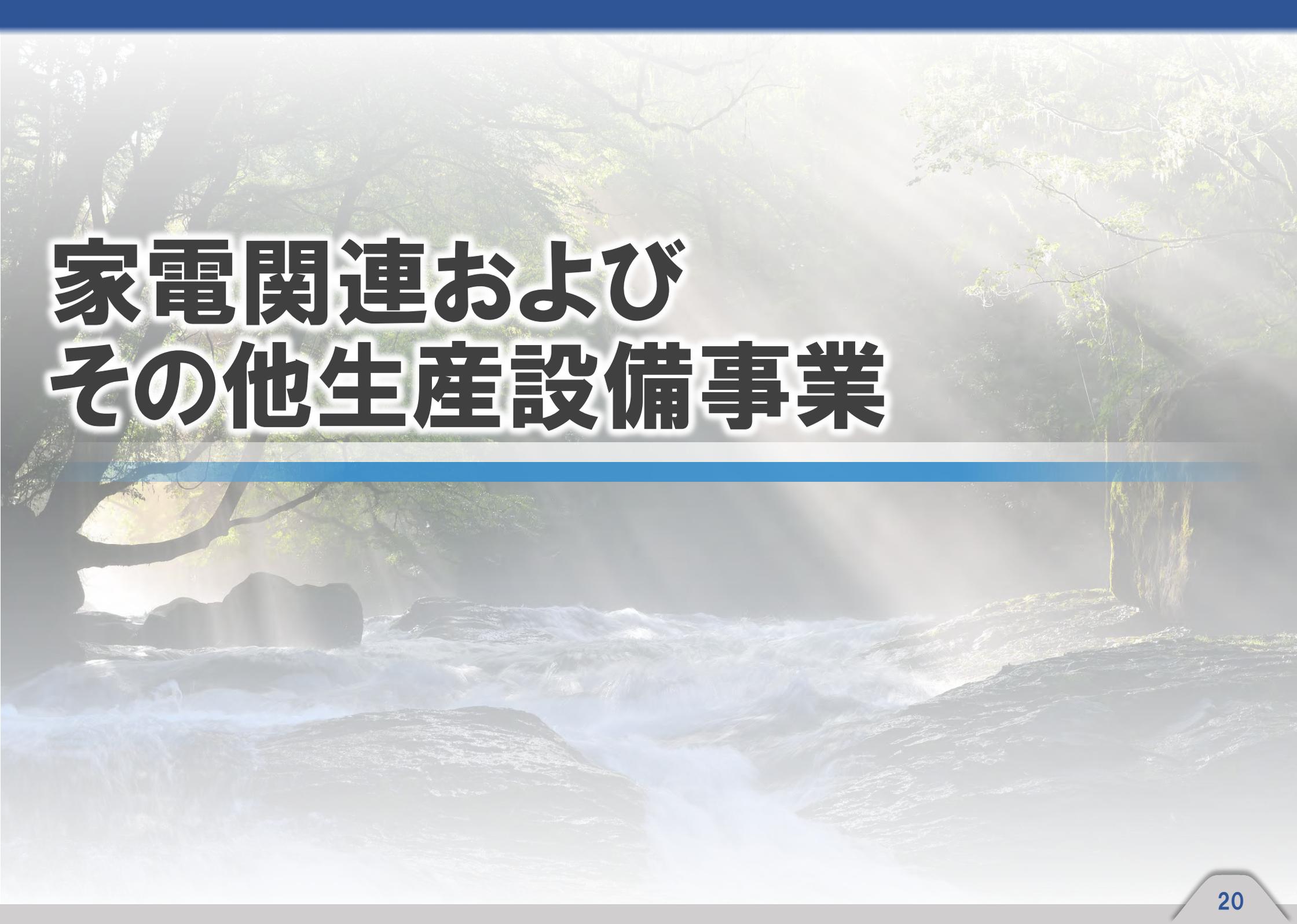
有機EL関連装置
真空蒸着装置



レーザーガラス切断システム



ウェーハ搬送ロボット



家電関連および その他生産設備事業

売上高

16,780百万円
前期比4.5%減

構成比
21.7%



家電の部品組立装置



樹脂成型機ライン



モバイル組立装置

設備投資の状況

総額

4,135百万円

当連結会計年度中に完成、導入した主要設備

熊本工場 新本社工場 1,350百万円

タイハイテクノス 石川工場技術センター 239百万円

熊本工場 五面加工機の導入 159百万円

当連結会計年度において継続中の主要設備の新設

熊本工場 工場建設 1,208百万円

総額

4,135百万円

当連結会計年度中に実施した
重要な固定資産の売却、撤去、滅失

熊本工場 新本社工場建設に伴う
既存建屋撤去

366百万円

熊本工場 新本社工場建設に伴う
工作機械等の売却

367百万円

資金調達の状況

**事業の譲渡、吸収分割
または新設分割の状況**

他の会社の事業の譲受けの状況

**吸収合併または吸収分割による
他の法人等の事業に関する
権利義務の承継の状況**

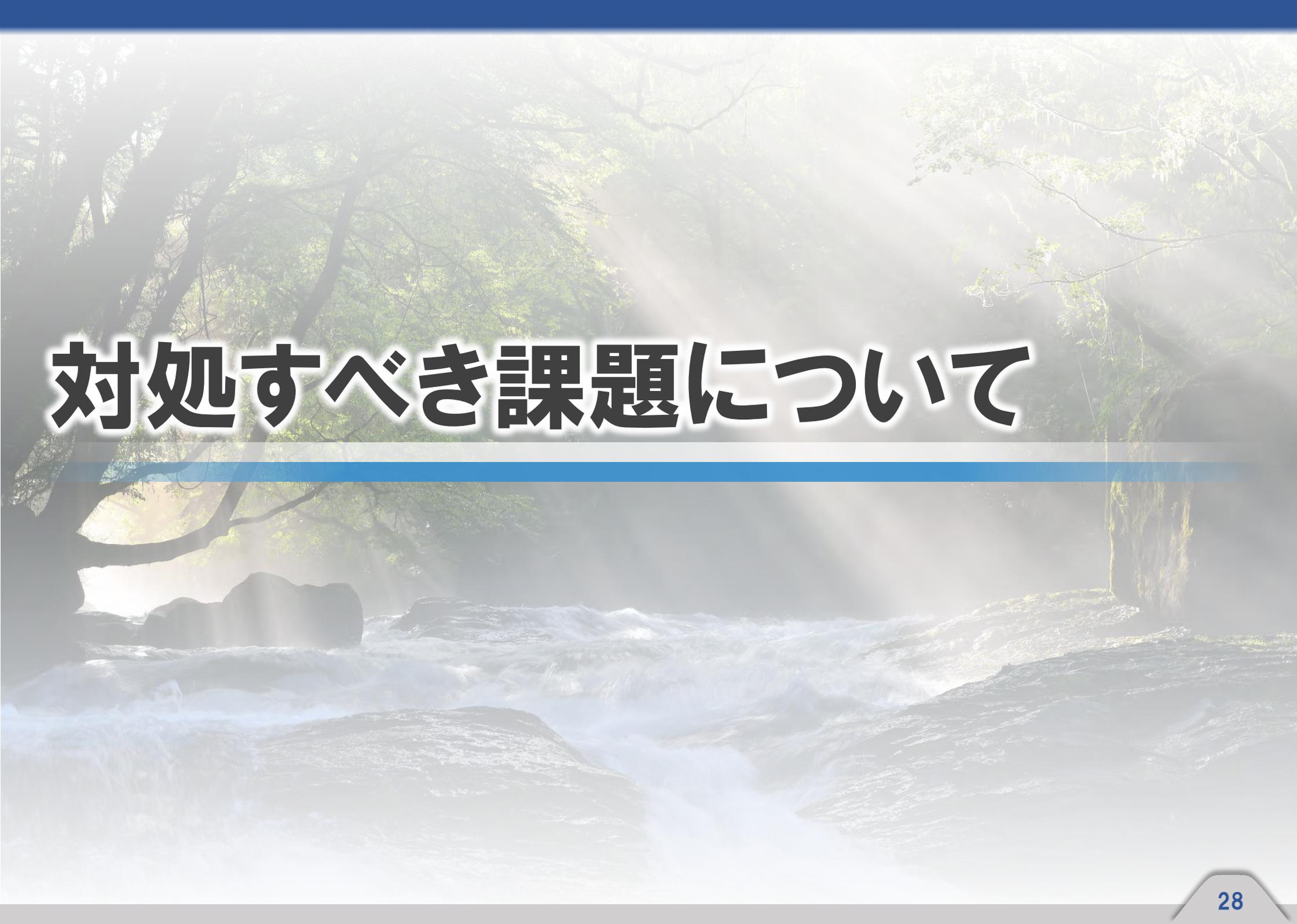
**他の会社の株式その他の持分または
新株予約権等の取得または処分の状況**

につきましては、該当事項はございません。

直前3事業年度の財産および 損益の状況

重要な親会社および子会社の状況

につきましては、
16ページから17ページをご参照ください。



対処すべき課題について

外部環境の変化による大きな影響

**米中貿易協議の長期化
取引先企業の設備投資を見直す動き**

今後も厳しい経営環境を想定

**「世界のお客様に選ばれるオンリーワンの
生産設備システムインテグレータ」として**

**外部環境に大きく左右されることなく、
高品質で高効率な生産システムを常に提供**

**安定化に向けた新たな事業への投資、
より一層の社内効率化**

① 中期経営計画への取組

**将来の成長性確保のための
経営戦略**

**最新加工機導入、
新本社工場建設などの設備投資**

新規事業分野での実用化研究

① 中期経営計画への取組

量産型ビジネスの確立と商品化

**量産かつ汎用が可能な
デバイス商品の開発**

既存の単品商品のラインナップ拡充

②事業上の課題への取組

世界9か所の拠点を活用した
グローバルな対応力と
生産現場ノウハウを発揮

新しい市場・顧客を開拓
安定した収益を確保できる事業展開

②事業上の課題への取組

欧州・中国などへの拡大と展開

新規顧客の開拓
新分野の研究開発

コスト体質の強化

主要な事業内容

主要な営業所および工場

使用人の状況

主要な借入先の状況

その他企業集団の現況に関する重要な事項

につきましては、
19ページから21ページをご参照ください。

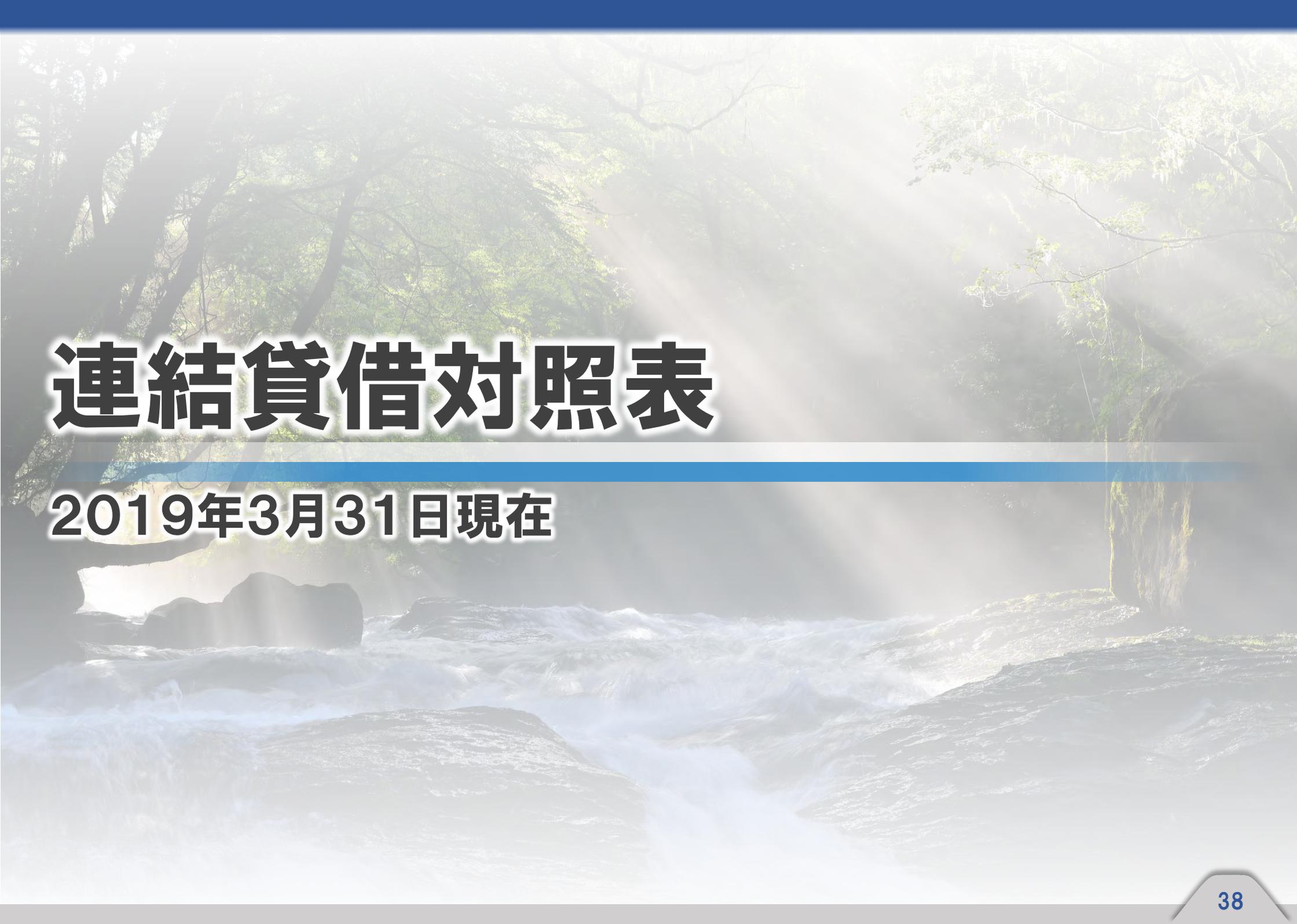
- 株式の状況
- 新株予約権等の状況
- 会社役員の状況
- 会計監査人の状況
- 業務の適正を確保するための体制
- 業務の適正を確保するための体制の運用状況
- 会社の支配に関する基本方針

につきましては、
22ページから32ページをご参照ください。

連結注記表

個別注記表

につきましては、
当社ウェブサイトに掲載して
おりますので、そちらにてご確認ください。



連結貸借対照表

2019年3月31日現在

➤ 資産の部

主要科目	金額(百万円)	増減率
流動資産	64,321	△10.0%
固定資産	26,252	+10.0%
資産合計	90,573	△5.0%

➤ 負債の部

主要科目	金額(百万円)	増減率
流動負債	36,718	△2.0%
固定負債	7,244	△35.7%
負債合計	43,963	△9.8%

▶ 純資産の部

主要科目	金額(百万円)	増減率
資本金	2,633	—
資本剰余金	14,300	△0.1%
利益剰余金	27,313	+12.2%
その他の 包括利益累計額	4,355	△11.2%
純資産合計	46,610	+0.1%
負債及び 純資産合計	90,573	△5.0%

連結損益計算書

2018年4月1日～2019年3月31日

主要科目

金額(百万円)

増減率

売上高

77,302

△17.9%

営業利益

6,249

△33.3%

経常利益

6,306

△31.8%

親会社株主に帰属する
当期純利益

4,637

△30.4%

連結株主資本等変動計算書

貸借対照表

損益計算書

株主資本等変動計算書

につきましては、
35ページから38ページをご参照ください。